





# 2024年度 シラバス

科目名	基礎数学						
担当教員	梁瀬 容一						
実務経験	無 / (有) ( 高等学校で教諭として実務経験あり )						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	数学の基本的な能力を養うと共に、さらには応用力を身に付け、 演習問題を解けるようにする。						
授業内容	第 1回	数の計算① (小数・分数)					
	第 2回	数の計算② (正の数・負の数)					
	第 3回	式の計算① (文字の式、式の展開)					
	第 4回	因数分解 (公式、たすき掛け)					
	第 5回	数の計算③ (根号を含む式)					
	第 6回	方程式① (1次方程式)					
	第 7回	方程式② (連立方程式)					
	第 8回	方程式③ (2次方程式、[因数分解・解の公式])					
	第 9回	第1回～第8回まとめ					
	第10回	速さ・濃度①					
	第11回	比の計算、割合①					
	第12回	関数① (2次関数の式とグラフ)					
	第13回	確率① (場合の数、確率)					
	第14回	第10回～第13回まとめ					
	第15回	まとめ					
使用教材	指定問題集・テキスト						
評価方法	出席・提出物・単元テスト・期末試験等により総合的に評価する。						

	教務主任	学科長	担任
			




# 2024年度 シラバス

科目名	基礎数学						
担当教員	梁瀬 容一						
実務経験	無 / (有) ( 高等学校で教諭として実務経験あり )						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	数学の基本的な能力を養うと共に、さらには応用力を身に付け、 演習問題を解けるようにする。						
授業内容	第 1回	図形① (面積・体積・角度)					
	第 2回	図形② (三角形)					
	第 3回	図形③ (円・扇形)					
	第 4回	三角比 (角度と値)					
	第 5回	計算・方程式					
	第 6回	不等式					
	第 7回	速さ・濃度②、比の計算・割合②					
	第 8回	関数②、確率②					
	第 9回	第1回～第8回まとめ					
	第10回	図形④ (空間図形)					
	第11回	方程式④					
	第12回	関数③					
	第13回	確率③					
	第14回	第10回～第13回まとめ					
	第15回	まとめ					
使用教材	指定問題集・テキスト						
評価方法	出席・提出物・単元テスト・期末試験等により総合的に評価する。						

	教務主任	学科長	担任
			

# 2024年度 シラバス

科目名	人文科学1						
担当教員	都野 祐俊						
実務経験	無 / (有) ( 高等学校で教諭として実務経験あり )						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	1. 言葉に対する関心・興味を持たせる。 2. 話し言葉・文字言葉についての理解を深めさせる。 3. 実践・実習を通して作文力を養成する。						
授業内容	第1回	言葉とは何か (言葉の抽象性)					
	第2回	話し言葉について (聞くこと話すこと)					
	第3回	文字言葉について (読むこと書くこと)					
	第4回	表記法について (特色・仮名づかい・送り仮名) I					
	第5回	表記法について (特色・仮名づかい・送り仮名) II					
	第6回	待遇表現 (敬語) について					
	第7回	"	II				
	第8回	"	III				
	第9回	日本語の伝統 (俳句・短歌)					
	第10回	日本語の伝統 (小説・論説文)					
	第11回	作文力をつけるポイントと演習 I					
	第12回	作文力をつけるポイントと演習 II					
	第13回	作文力をつけるポイントと演習 III					
	第14回	ビジネスマナー I					
	第15回	ビジネスマナー II					
使用教材	書く力を身につける 作文ワークブック これだけは知っておきたい! 面接対策&ビジネスマナー 最新最強の地方公務員問題 初級 '24年版						
評価方法	定期テスト						

	教務主任	学科長	担任
			




# 2024年度 シラバス

科目名	一般知能1						
担当教員	窪田 晴哉						
実務経験	無 / (有) ( 専修学校、個別サポート塾教諭として実務経験あり )						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	判断推理の問題を使って、考える力を身につける。 資料を正しく読み取る力を身につける。						
授業内容	第1回	論理・集合					
	第2回	対応関係・順序関係					
	第3回	位置関係・うそつき問題					
	第4回	試合・暗号					
	第5回	手順					
	第6回	数量関係・位相					
	第7回	軌跡					
	第8回	道順・折り紙					
	第9回	平面図形の分割構成					
	第10回	空間図形の分割構成					
	第11回	正多面体・展開図					
	第12回	立体の切断					
	第13回	資料解釈					
	第14回	資料解釈					
	第15回	資料解釈					
使用教材	よくわかる判断推理 田辺勉著 実務教育出版 プリント						
評価方法	筆記テスト						

教務主任	学科長	担任
菅	青木	青




## 2024年度 シラバス

科目名	人体の構造と機能1						
担当教員	江面 洋一						
実務経験	○無 / 有 ( 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり )						
学科学年	救急救命科 1年	○前期 ・ 後期	○講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	緊急時における身体変化をアセスメントするために必要となる、正常な人体の構造および機能について習得する。						
授業内容	第1回	講義ガイダンス・人体を構成する要素①					
	第2回	人体を構成する要素②					
	第3回	人体を構成する要素③					
	第4回	神経系①(神経系の構成)					
	第5回	神経系②(中枢神経系①)					
	第6回	神経系③(中枢神経系②)					
	第7回	神経系④(末梢神経系①)					
	第8回	神経系⑤(末梢神経系②)					
	第9回	神経系⑥(脳循環)					
	第10回	感覚系①(感覚系の構成と役割・視覚器・聴覚器・平衡感覚器)					
	第11回	感覚系②(嗅覚器・味覚器・皮膚感覚器)					
	第12回	生殖系①(男性生殖器)					
	第13回	生殖系②(女性生殖器)					
	第14回	内分泌系①(内分泌・外分泌とは)					
	第15回	内分泌系②(各ホルモンの役割)・定期試験ガイダンス					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
			




## 2024年度 シラバス

科目名	人体の構造と機能2						
担当教員	富樫伸治						
実務経験	無 / <input checked="" type="radio"/> 有 ( 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり )						
学科学年	救急救命科1年	(前期) ・ 後期	(講義) ・ (実習)	単位数	2	時間数	30
授業目標	緊急時における身体変化をアセスメントするために必要となる、正常な人体の構造および機能について習得する。						
授業内容	第1回	科目説明					
	第2回	体表からみる人体の構造①					
	第3回	体表からみる人体の構造②					
	第4回	体表からみる人体の構造③					
	第5回	体表からみる人体の構造④					
	第6回	呼吸系①(呼吸系の構成と役割①)					
	第7回	呼吸系③(呼吸系の構成と役割③)					
	第8回	呼吸系③(ガス交換)					
	第9回	循環器①(循環系の構成と役割①)					
	第10回	循環器②(心臓の構造)					
	第11回	循環器③(刺激伝導系)					
	第12回	循環器④(脈管・循環制御)					
	第13回	総復習					
	第14回	総復習					
	第15回	総復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
			




# 2024年度 シラバス

科目名	基礎医学1					
担当教員	吉川 実					
実務経験	無 / (有) ( 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり )					
学科学年	救急救命科 1年	(前期) ・ 後期	(講義) ・ 実習	単位数	2	時間数  30
授業目標	医療従事者には重要な解剖生理学を学び、基本的な知識を身に付ける。 国家試験では、非常に頻度が高いため、ポイントを絞り学ぶ。					
授業内容	第1回	消化系				
	第2回	消化系				
	第3回	消化系				
	第4回	消化系				
	第5回	泌尿器系				
	第6回	泌尿器系				
	第7回	泌尿器系				
	第8回	血液・免疫系				
	第9回	血液・免疫系				
	第10回	血液・免疫系				
	第11回	筋・骨格系				
	第12回	筋・骨格系				
	第13回	皮膚系				
	第14回	皮膚系				
	第15回	上記の総復習				
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他					
評価方法	筆記試験					

	教務主任	学科長	担任
			

# 2024年度 シラバス




科目名	基礎医学2					
担当教員	藤原 廉					
実務経験	○無 / 有 ( )					
学科学年	救急救命科1年	○前期 ・ 後期	○講義 ・ 実習	単位数	2	時間数 30
授業目標	救急救命士標準テキスト(疾患の成り立ちと回復の過程)の内容を基本として 医学の基礎的な知識を学び、国家試験のみならず、臨床実習や実現場において 活用できる知識を身に付ける。					
授業内容	第1回	疾患				
	第2回	疾患				
	第3回	炎症と感染				
	第4回	炎症と感染				
	第5回	循環障害				
	第6回	循環障害				
	第7回	代謝障害				
	第8回	代謝障害				
	第9回	進行性病変と退行性病変				
	第10回	進行性病変と退行性病変				
	第11回	腫瘍				
	第12回	先天異常				
	第13回	損傷				
	第14回	死				
	第15回	上記の総復習				
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他					
評価方法	五肢択一の筆記試験を実施					

	教務主任	学科長	担任
			





# 2024年度 シラバス

科目名	救急医学概論						
担当教員	富樫伸治						
実務経験	無 / <input checked="" type="radio"/> ( 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり )						
学科学年	救急救命科 1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	医療従事者にとって重要な、倫理観を養わせるため、多方面からアプローチし、わかりやすく丁寧な授業を実施する。						
授業内容	第1回	基礎分野					
	第2回	基礎分野					
	第3回	基礎分野					
	第4回	生命倫理					
	第5回	生命倫理					
	第6回	生命倫理					
	第7回	医の倫理					
	第8回	医の倫理					
	第9回	医の倫理					
	第10回	医療体制					
	第11回	医療体制					
	第12回	医療体制					
	第13回	活動の基本					
	第14回	活動の基本					
	第15回	上記の総復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
			

# 2024年度 シラバス




科目名	救急医療・患者搬送						
担当教員	青木 清						
実務経験	無 / (有) 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり )						
学科学年	救急救命科1年	(前期) ・ 後期	(講義) ・ 実習	単位数	2	時間数	30時間
授業目標	救急救命士の役割と責任、救急救命士に関する法規について理解する。 災害医療の体制、災害時の活動について理解する。 傷病者の接遇、救急活動時の安全管理について理解する。						
授業内容	第1回	救急救命士の役割					
	第2回	救急救命士の責任					
	第3回	救急救命士法					
	第4回	救急救命士法と関連する法令					
	第5回	救急救命士と医療事故					
	第6回	災害医療について					
	第7回	災害医療体制について					
	第8回	災害時の活動					
	第9回	災害時の医療訓練					
	第10回	心的外傷後ストレス障害PTSD					
	第11回	救急救命士と傷病者との関係					
	第12回	ストレスに対するマネジメント					
	第13回	安全管理とリスクマネジメント					
	第14回	傷病者の安全管理					
	第15回	救急隊員の安全管理					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
			






# 2024年度 シラバス

科目名	救急処置論						
担当教員	藤原 廉						
実務経験	○無 / 有 ( )						
学科学年	救急救命科1年	○前期 ・ 後期	○講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	救急救命処置を実施する際に必要不可欠な資器材の特徴や使用法を理解させる。 また、国家試験でも頻出分野であるため詳細な部分まで知識を定着させる。						
授業内容	第1回	処置総論(応急処置の概念、住民が行う手当、救急隊が行う処置、救急救命処置)					
	第2回	処置総論(特定行為、医師が行う処置、処置の効果判断)					
	第3回	処置各論(聴診器、パルスオキシメータ、カプノメータ)					
	第4回	処置各論(酸素投与)					
	第5回	処置各論(気道確保)					
	第6回	処置各論(気道異物除去)					
	第7回	処置各論(声門上気道デバイス)					
	第8回	処置各論(声門上気道デバイス)					
	第9回	処置各論(気管挿管)					
	第10回	処置各論(気管挿管)					
	第11回	処置各論(気管挿管)					
	第12回	処置各論(人工呼吸)					
	第13回	処置各論(血圧測定)					
	第14回	処置各論(心電図モニター)					
	第15回	まとめ					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他						
評価方法	五肢択一の筆記試験を実施						

	教務主任	学科長	担任
			



# 2024年度 シラバス

科目名	観察と評価及び検査 1					
担当教員	吉川 実					
実務経験	無 / (有) ( 消防本部で消防士・救急救命士として実務経験あり )					
学科学年	救急救命科 1 年	(前期 ・ 後期	(講義 ・ 実習	単位数	2	時間数 30
授業目標	傷病者の観察や神経所見を覚え、緊急度・重症度判断を的確にできるようにさせる。 内容の理解を深めさせる。					
授業内容	第 1回	観察総論				
	第 2回	観察総論				
	第 3回	全身状態の観察 (外見・気道の観察)				
	第 4回	全身状態の観察 (呼吸・循環の観察)				
	第 5回	全身状態の観察 (意識の観察)				
	第 6回	局所の観察				
	第 7回	局所の観察				
	第 8回	局所の観察				
	第 9回	局所の観察				
	第10回	神経所見の観察				
	第11回	神経所見の観察				
	第12回	神経所見の観察				
	第13回	緊急度・重症度判断				
	第14回	緊急度・重症度判断				
	第15回	緊急度・重症度判断				
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他					
評価方法	筆記試験					

	教務主任	学科長	担任
			

# 2024年度 シラバス

科目名	観察と評価及び検査2					
担当教員	江面 洋一					
実務経験	無 / (有) ( 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり )					
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数  30
授業目標	<p>酸素投与の必要性と効果、傷病者の適切な体位管理を理解させる。</p> <p>傷病者搬送について、適切な救出・搬送要領を理解せる。</p>					
授業内容	第1回	酸素投与について（総論）				
	第2回	酸素投与の適応、合併症				
	第3回	体位管理（総論）				
	第4回	病態別・症状別体位管理				
	第5回	傷病者搬送（総論）				
	第6回	傷病者搬送方法の種類				
	第7回	器具を使った搬送①				
	第8回	器具を使った搬送②				
	第9回	搬送手順要領				
	第10回	搬送手順要領（Drヘリ、防災ヘリ）				
	第11回	事故車両からの救出（総論）				
	第12回	事故車両からの救出（観察）				
	第13回	事故車両からの救出（手技）				
	第14回	事故車両からの救出（手技）				
	第15回	外傷傷病者、観察評価から処置、救出要領				
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、JPTECガイドライン、他					
評価方法	筆記試験					

	教務主任	学科長	担任
			

# 2024年度 シラバス

科目名	症候と病態1						
担当教員	藤原 廉						
実務経験	○無 / 有 ( )						
学科学年	救急救命科1年	○前期 ・ 後期	○講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	資器材の使用方法及び心肺停止の病態と処置を学び、救急現場において適切な判断と処置を実施できる事を目的とする。						
授業内容	第1回	心肺停止 (定義・病態)					
	第2回	心肺停止 (病態・原因)					
	第3回	心肺停止 (心電図分類・心肺蘇生)					
	第4回	心肺停止 (心肺蘇生)					
	第5回	上記内容の復習					
	第6回	救急蘇生法					
	第7回	救急蘇生法					
	第8回	救急蘇生法					
	第9回	上記内容の復習					
	第10回	声門上気道デバイス					
	第11回	声門上気道デバイス					
	第12回	人工呼吸					
	第13回	胸骨圧迫					
	第14回	電気ショック					
	第15回	試験対策					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他						
評価方法	五肢択一の筆記試験を実施						

	教務主任	学科長	担任
	○ 藤原	○ 藤原	○ 吉川

# 2024年度 シラバス

科目名	症候と病態2						
担当教員	藤原 廉						
実務経験	○無 / 有 ( )						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ ○後期	○講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	咯血・吐血・下血の違いについて深く理解させる。 国家試験の頻出範囲であるため詳細なところまで教える。						
授業内容	第1回	咯血					
	第2回	咯血					
	第3回	咯血					
	第4回	復習					
	第5回	吐血・下血					
	第6回	吐血・下血					
	第7回	吐血・下血					
	第8回	復習					
	第9回	体温上昇					
	第10回	体温上昇					
	第11回	体温上昇					
	第12回	体温上昇					
	第13回	復習					
	第14回	国家試験対策					
	第15回	国家試験対策					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂10版、他						
評価方法	五肢択一の筆記試験を実施						

	教務主任	学科長	担任
	○	○	○

# 2024年度 シラバス




科目名	症候と病態3						
担当教員	吉田 颯良						
実務経験	○無 / 有 ( )						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ ○後期	○講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	痙攣、運動麻痺、めまい、一過性意識消失と失神、眼・耳・鼻の疾患について学習する。 痙攣、運動麻痺、めまい、意識消失と失神に関しては国家試験頻出のため より高度な知識を習得できるようにする。						
授業内容	第1回	痙攣					
	第2回	痙攣					
	第3回	痙攣					
	第4回	運動麻痺					
	第5回	運動麻痺					
	第6回	運動麻痺					
	第7回	一過性意識消失と失神					
	第8回	一過性意識消失と失神					
	第9回	一過性意識消失と失神					
	第10回	第1回～第9回までの復習(小テスト)					
	第11回	眼の疾患					
	第12回	耳の疾患					
	第13回	鼻の疾患					
	第14回	眼・耳・鼻の疾患に関する復習(小テスト)					
	第15回	総復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂10版、他						
評価方法	五肢択一の筆記試験を実施						

	教務主任	学科長	担任
	○菅井	○栗	○吉田






# 2024年度 シラバス

科目名	疾病救急医学1						
担当教員	富樫伸治						
実務経験	無 / <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり )						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	救急救命活動に際し必須となる呼吸系疾患について、以下の区分間のつながりを意識し、 人体の構造・機能を再考することにより、その基本的知識を体得できる： ①呼吸系の症候 ②呼吸系構造・機能に基づく疾患 ③呼吸系感染症						
授業内容	第1回	講義ガイダンス・呼吸系の構造と機能の復習					
	第2回	呼吸不全①－定義と概念・低酸素血症－					
	第3回	呼吸不全②－高二酸化炭素血症・換気障害－					
	第4回	ショック①－循環血液量減少によるもの－					
	第5回	ショック②－心原性によるもの－					
	第6回	ショック③－閉塞・拘束性によるもの・その他－					
	第7回	呼吸困難①－定義と概念・分類－					
	第8回	呼吸困難②－原因疾患・随伴症状－					
	第9回	呼吸困難③－重症度の判断・現場対応－					
	第10回	呼吸系疾患①－気道疾患－					
	第11回	呼吸系疾患②－肺胞疾患－					
	第12回	呼吸系疾患③－感染症－					
	第13回	呼吸系疾患④－気胸・がん・間質性肺炎－					
	第14回	呼吸系疾患⑤－疾患まとめ－					
	第15回	プレテスト					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
			

# 2024年度 シラバス

科目名	疾病救急医学2						
担当教員	青木 清						
実務経験	無 / <input checked="" type="checkbox"/> ( 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり 大学病院、クリニックで医師として実務経験あり )						
学科学年	救急救命科 / 1学年	前期	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	単位数	2	時間数	30
		<input checked="" type="checkbox"/> 後期	・ 実習				
授業目標	救急救命活動に際し必須となる循環系疾患について、以下の区分間のつながりを意識し、 人体の構造・機能を再考することにより、その基本的知識を体得できる： ①動脈硬化・虚血性心疾患 ②心筋・心膜・弁疾患 ③血管系疾患 ④心電図の観察						
授業内容	第 1回	講義ガイダンス・循環系の構造と機能の復習					
	第 2回	胸痛および動悸					
	第 3回	心不全①					
	第 4回	心不全②					
	第 5回	心不全③					
	第 6回	心不全④					
	第 7回	心不全⑤					
	第 8回	循環系疾患①ー虚血性心疾患①ー					
	第 9回	循環系疾患②ー虚血性心疾患②ー					
	第10回	循環系疾患③ー心筋・心膜疾患ー					
	第11回	循環系疾患④ー心臓弁膜症ー					
	第12回	循環系疾患⑤ー不整脈ー					
	第13回	循環系疾患⑥ー心電図の基礎と観察ー					
	第14回	循環系疾患のまとめ					
	第15回	プレテスト					
使用教材	『救急救命士標準テキスト改訂第9版』『病気がみえる 第2版 Vol.2』 パワーポイント資料						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
			




# 2024年度 シラバス

科目名	疾病救急医学3						
担当教員	吉田 颯良						
実務経験	○無 / 有 ( )						
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ ○後期	○講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	痛みの特徴や消化系疾患一つ一つを理解し、救急現場で緊急度・重症度判断と適切な処置を実施できる事を目的とする。						
授業内容	第1回	腹痛					
	第2回	腹痛					
	第3回	腹痛					
	第4回	上記内容の復習					
	第5回	腰痛・背部痛					
	第6回	腰痛・背部痛					
	第7回	腰痛・背部痛					
	第8回	上記内容の復習					
	第9回	消化系疾患					
	第10回	消化系疾患					
	第11回	消化系疾患					
	第12回	消化系疾患					
	第13回	消化系疾患					
	第14回	上記内容の復習					
	第15回	試験対策					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他						
評価方法	五肢択一の筆記試験を実施						

	教務主任	学科長	担任
	○吉田	○吉田	○吉田




## 2024年度 シラバス

科目名	疾病救急医学4						
担当教員	江面 洋一						
実務経験	無 / 有 ( 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり )						
学科学年	救急救命科 1年	前期 ・ 後期	講義 ・ 実習	単位数	2	時間数	30
授業目標	泌尿・生殖系疾患の原因及び病態について理解する。 代謝・内分泌・栄養系疾患の病態症候について理解する。 血液・免疫系、筋・骨格筋系、皮膚系疾患の病態及び症状の原因について理解する。						
授業内容	第1回	泌尿・生殖系 (総論)					
	第2回	腎疾患 (各論)					
	第3回	腎疾患 (各論)					
	第4回	生殖器 (各論)					
	第5回	代謝・内分泌・栄養系 (総論)					
	第6回	糖尿病と合併症 (総論)					
	第7回	低血糖 (各論)					
	第8回	糖尿病性ケトアシドーシス (各論)					
	第9回	代謝異常 (主な疾患)					
	第10回	血液・免疫系 (総論)					
	第11回	アナフィラキシーショック (原因、症状、処置)					
	第12回	筋・骨格筋系 (総論)					
	第13回	脊椎、関節疾患 (各論)					
	第14回	皮膚系疾患 (総論)					
	第15回	アレルギー疾患 (各論)					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
			




# 2024年度 シラバス

科目名	救急処置各論						
担当教員	青木 清						
実務経験	無 / (有) (消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり)						
学科学年	救急救命科 1年	前期 ・ (後期)	(講義) ・ 実習	単位数	2	時間数	30時間
授業目標	1. 頭蓋内圧上昇の機序・症候・悪化因子について理解する 2. 意識障害における観察事項・処置について理解する 3. 一次性・二次性頭痛の概念を理解する 4. 神経疾患における重要な症候、現場活動での要点を理解する						
授業内容	第 1回	重症脳障害					
	第 2回	重症脳障害					
	第 3回	重症脳障害					
	第 4回	重症脳障害					
	第 5回	意識障害					
	第 6回	意識障害					
	第 7回	意識障害					
	第 8回	頭 痛					
	第 9回	頭 痛					
	第10回	頭 痛					
	第11回	神経疾患					
	第12回	神経疾患					
	第13回	神経疾患					
	第14回	神経疾患					
	第15回	上記復習および国家試験症例問題対策					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂10版、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
			




# 2024年度 シラバス

科目名	外傷1						
担当教員	江面 洋一						
実務経験	無 / (有) ( 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり )						
学科学年	救急救命科1年	(前期) ・ 後期	(講義) ・ 実習	単位数	2	時間数	30時間
授業目標	外傷のメカニズムを学び、現場活動に必要な知識と技術を学ぶ。 JPTECに準拠した外傷プロトコールを学び、現場活動に必要な知識と技術を学ぶ。						
授業内容	第1回	外傷総論（外傷の定義と種類）、JPTEC					
	第2回	外傷総論（外傷の疫学、防ぎえた外傷死）、JPTEC					
	第3回	外傷総論（出血と止血、創傷と治療）、JPTEC					
	第4回	受傷機転（受傷機転の把握）、JPTEC					
	第5回	受傷機転（発生機序）、JPTEC					
	第6回	受傷機転（特異な受傷機転と損傷の特徴）、JPTEC					
	第7回	外傷性ショック（原因）、JPTEC					
	第8回	外傷性ショック（病態と生理）、JPTEC					
	第9回	外傷性ショック（観察と判断）、JPTEC					
	第10回	現場活動（現場活動と全体像）、JPTEC					
	第11回	現場活動（現場活動と全体像）、JPTEC					
	第12回	現場活動（傷病者観察と判断）、JPTEC					
	第13回	現場活動（応急処置）、JPTEC					
	第14回	現場活動（搬送）、JPTEC					
	第15回	上記内容の復習					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、JPTECガイドライン、他						
評価方法	筆記試験						

	教務主任	学科長	担任
			




# 2024年度 シラバス

科目名	外傷2					
担当教員	江面 洋一					
実務経験	無 / (有) ( 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり )					
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ (後期)	(講義) ・ 実習	単位数	2	時間数 30
授業目標	JPTECに準拠した外傷プロトコールを学び、現場活動に必要な知識と技術を学ぶ。併せて、症例問題などを出題し、国家試験対策としたい。					
授業内容	第 1回	頭部外傷				
	第 2回	頭部外傷				
	第 3回	顔面・頸部の外傷				
	第 4回	顔面・頸部の外傷				
	第 5回	脊髄・脊椎の外傷				
	第 6回	脊髄・脊椎の外傷				
	第 7回	胸部外傷				
	第 8回	胸部外傷				
	第 9回	腹部外傷				
	第10回	腹部外傷				
	第11回	骨盤外傷				
	第12回	骨盤外傷				
	第13回	四肢外傷				
	第14回	四肢外傷				
	第15回	上記内容の復習				
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、JPTECガイドライン、他					
評価方法	筆記試験					

	教務主任	学科長	担任
			

# 2024年度 シラバス




科目名	外傷3					
担当教員	吉川 実					
実務経験	無 / <input checked="" type="checkbox"/> ( 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり )					
学科学年	救急救命科1年	前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 実習	単位数	2	時間数 30
授業目標	JPTECに準拠した外傷プロトコルを学び、現場活動に必要な知識と技術を学ぶ。併せて、症例問題などを出題し、国家試験対策としたい。					
授業内容	第 1回	皮膚および小児について				
	第 2回	皮膚および小児について				
	第 3回	熱傷				
	第 4回	熱傷				
	第 5回	化学損傷				
	第 6回	化学損傷				
	第 7回	電撃損傷				
	第 8回	電撃損傷				
	第 9回	縊頸				
	第10回	絞頸				
	第11回	刺咬症				
	第12回	刺咬症				
	第13回	復習				
	第14回	国家試験頻出問題の解説				
	第15回	国家試験対策および復習				
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂第10版、他					
評価方法	筆記試験					

	教務主任	学科長	担任
			



# 2024年度 シラバス

科目名	シミュレーション実習 1						
担当教員	青木清・富樫伸治・吉川実・江面洋一・藤原廉・吉田颯良						
実務経験	無 / (有) 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり )						
学科学年	救急救命科 1年	(前期) ・ 後期	講義 ・ (実習)	単位数	4	時間数	180時間
授業目標	1、救急現場で、直ぐに活動できる救急救命士を育てる。 2、シミュレーション実習を通して、 国家試験症例問題に対応できる能力を身につける。 3、救急救命士（消防吏員）として、規律 ある行動が取れるようにする。 4、上記の内容を重点的に行い、実践的な現場活動を学ぶ。						
授業内容	第 1回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
	第 2回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
	第 3回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
	第 4回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
	第 5回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
	第 6回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
	第 7回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
	第 8回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
	第 9回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
	第10回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
	第11回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
	第12回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
	第13回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
	第14回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
	第15回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火曜日3.4時限）（木、金曜日1.2時限）					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂9・10版 J PTECガイドブック、スキルマスター						
評価方法	実技試験						

	教務主任	学科長	担任
			

# 2024年度 シラバス

科目名	シミュレーション実習 2						
担当教員	青木清・冨樫伸治・吉川実・江面洋一・藤原廉・吉田颯良						
実務経験	無 / (有) ( 消防本部で消防士、救急救命士として実務経験あり )						
学科学年	救急救命科 1年	前期 ・ (後期)	講義 ・ (実習)	単位数	4	時間数	180時間
授業目標	1、救急現場で、直ぐに活動できる救急救命士を育てる。 2、シミュレーション実習を通して、 国家試験症例問題に対応できる能力を身につける。 3、救急救命士（消防吏員）として、規律 ある行動が取れるようにする。 4、上記の内容を重点的に行い、実践的な現場活動を学ぶ。						
授業内容	第1回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第2回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第3回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第4回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第5回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第6回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第7回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第8回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第9回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第10回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第11回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第12回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第13回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第14回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
	第15回	トレーニング（体力錬成）、BLS・ACLS実技訓練（火、木、金曜日3.4時限）					
使用教材	救急救命士標準テキスト改訂9・10版 JPTECガイドブック、スキルマスター						
評価方法	実技試験						

	教務主任	学科長	担任
	